

# 富士通環境行動計画

環境憲章に定めた事項を具体的に実践していくため、各対策ごとの数値目標などを定めた「富士通環境行動計画」を策定しました(第2期:1996年4月)。1997年度の目標と実績および1998年度の目標は、次のとおりです。

## 行動目標

項目	行動目標	1997年度		1998年度目標
		目標	実績	
環境マネジメントシステム	工場や事業所(開発・サービス拠点含む)を対象に、2000年度末までにISO規格に基づく環境マネジメントシステムを構築・運用	国内製造工場 認証取得 5工場	5工場 (達成)	開発・サービス 事業所認証取得 2事業所
製品リサイクル対策	回収廃製品を対象に、2000年度末までにリサイクル率90%達成	73%	86% (達成)	88%
工場廃棄物減量化対策	工場廃棄物量を、2000年度末までに1991年度実績比で80%削減	70%削減	71%削減 (達成)	73%削減
化学物質の排出削減	環境負荷低減のため、化学物質の排出量を2000年度末までに1995年度実績比で20%削減	9%削減	7.4%増加 (未達成)	15%削減
省エネルギー対策 (地球温暖化対策)	単位売上高当たりの電力使用量を、2000年度末までに1990年度実績比で20~30%削減	27%削減	28.3%削減 (達成)	29%削減

## 行動目標達成のための主な具体策

### 環境マネジメントシステム

- ISO14001の導入
  - 共通仕様書類の整備によるシステム構築と運用の定着
  - システム構築と運用ノウハウの共有
  - 内部環境監査の実施によるシステムの有効性確認と環境パフォーマンスの向上
  - 製品および工場における環境影響など各種アセスメントの実施

### 製品リサイクル対策

- 製品開発・設計段階における環境対応
  - グリーン製品の開発推進
    - 開発コンセプト確立、製品の開発推進
    - 製品環境アセスメント実施によるレベル向上
    - リサイクル率の向上
  - ライフサイクルアセスメント(LCA)技術の導入
    - LCA基礎技術の確立
    - グリーン製品開発への適用
  - リサイクルを考慮した包装技術(リターナブルコンテナなど)の開発
  - 有害物質の使用自主規制
    - リスクアセスメント、リスクマネジメントの実施
    - ガイドラインによる製品設計のサポート
- グリーン調達の推進
  - 環境に配慮した材料・部品・製品の積極的調達
- 廃製品の収集・リサイクル
  - リサイクルセンター設置の全国展開
  - 廃製品の解体手順確立

### 工場廃棄物減量化対策

- 廃棄物の減量化
  - 廃油の廃棄基準の見直し、使用量の抑制
  - 有機アルカリ廃液の減圧化による濃縮
- 廃棄物の有効利用
  - 汚泥に含まれる有価金属や、現像液、めっき液などの再利用化の向上
- 減量化マニュアルと事例集の整備・運用

### 化学物質の排出削減

- 工場で使用・排出される化学物質の削減
  - 排出低減化技術の確立
  - 化学物質使用方法の改善による使用量の削減

### 省エネルギー対策

- 工場、事業所の省エネルギー技術・設備などの導入促進
  - 省エネルギー新技術設備導入、技術確立
  - 省エネルギー製造設備、製造プロセスの開発
  - エネルギーの使用効率化
- 省エネルギー技術、ノウハウの工場・事業所間の水平展開
- エネルギー使用状況の的確な把握方法、システムの構築